

令和元年度若手環境教育リーダー育成事業 成果報告会

夏休みに実施した体験プログラムの成果と課題を発表する学生たち

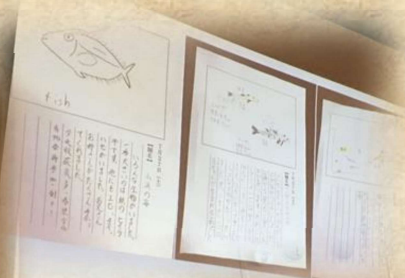
ひらめき☆理科ぶろっく

Fukui play-studio 遊房

仁愛大学 西出研



環境保全
ボランティア
サークル



光エコキャラバン隊



令和元年度若手環境教育リーダー育成事業 報告会を終えて【参加学生たちの感想など】

“環境”という視点から目的を持って企画・運営にあたることで、子ども達にとっても意義のあるものになると感じました。しかし、子ども自身がその意義をどう感じとることができたかを知る機会がないため、考えていかなければならないと思いました。また、若手環境教育リーダー育成事業に応募することで、大学では得られない専門的で客観的な御指導を頂くことができました。この機会があったことで、新しい視点を得られたため、私達の活動だけにとどめておくのではなく、福井大学の探求ネットワーク全体に還元していきたいです。このような貴重な機会、御指導を頂き、ありがとうございました。

昨年度に引き続き、若手環境教育リーダー育成事業に参加したことで、私たちにとって非常に深い学びに繋がりました。昨年度は子どもたちに「環境について考えてもらおう」という意図でプログラムを組みました。しかし今年度は、審査員の方のご助言を頂き、自然の中に子どもたちをただおくことで、「考える」より「感じる」ことに注目したプログラムを展開しました。すると、自然の中で子どもたち自ら動き回り、興味津々な様子で自然物に食いついていくという活発で自然な子どもたちの姿が印象的でした。場の設定次第で子どもたちが違和感なく学ぶことができるのだと、非常に勉強になりました。

このプログラムに参加して、自然環境の偉大さ、良さ、大切さなどを子どもたちに伝えることがいかに難しいかということを感じ知らされました。直感的に感じるができる「楽しさ」に対し、「環境の偉大さ、良さ、大切さ」は子ども自身が理解する必要があるからです。子ども達をどう「楽しい」に引き込むのか、「楽しい」から「知りたい」「守りたい」に展開していくにはどうすればよいのか。理科教員を志すものとして、これからも考えていきたいです。子ども達、私達に環境についての学びの場を与えてくださり、本当にありがとうございました。

今回の活動では、去年のような図鑑作りではなく、新たにマップ作りを行ったため、どこにどんな生きものがいるのかを体験を元に行うことができたのではないかと感じます。参加人数が少なめだったことは残念でしたが、少ないことで一班ごとに学生が対応することができ、低学年でも活動に取り組みやすかったのではないかと思います。大学生にまでなると自然と触れ合う機会が減っていますが、今回、企画運営していくことによって、自然について考えるようになり、自分が教師になった時にも、子ども達が自然に触れ合う機会を作ろうと思うようになりました。

昨年度に引き続き若手環境教育リーダー育成事業に参加させていただきました。自然の中で遊んでいるだけでその良さを知り、新たな気持ちになることができました。実際に自然に触れることで、環境保全の重要性に気づくことができました。子どもたちは大きなけがもなく楽しむことができました。楽しむことが学びの入り口につながると思うので、子どもたちにはいい経験になったと思います。

前年度までは一般の参加者は少ないという状況でした。今年度からは、地域の方にも活動に加わってもらい、多くの一般参加者を募ることとなりました。当日は、多くの参加者の来場が見込まれたので、運営スタッフ内で事前確認などを行い、スムーズに運営をできるように心がけました。大勢の人に指示を通すことは予想よりも難しく、思い通りにいかなかった事もありましたが、スタッフ間で協力することで活動を進めることができました。活動を通して、協力と臨機応変な対応の大切さを学びました。

この事業に参加して、多くの力が身についたと思います。どんなイベントも企画から報告までおこなうことは大変だと思っていましたが、この事業についてはやりがいがありました。学内や学外の方と交流する機会があり、幅広い分野の方と話すことで、新しい情報や考え方を知ることができました。子ども達に教え終わったときに、「楽しかった」「内容が分かったよ」と言ってもらえることがうれしくて、それがあから頑張って来れたと思います。

地域の子どもやその保護者の方々と一緒に科学の楽しさを共有することができました。また、海岸清掃で海をきれいにしながらマイクロプラスチックのことに参加者とともに理解を深めることができました。一年間、いろいろなプロジェクトに参加し、コミュニケーション能力を高めることができました。

プログラムを行う中で普段はあまり気にしていなかった運営者としての意識や責任を再確認することができました。また、研修会が行われたのも運営の仕方やコツ、リーダーとしての在り方を学ぶ上で良い機会となりました。このプログラムを通して学んだ環境面でのこと、プログラムを行うときに注意することを日々の活動に生かしていきたいです。

今回の活動において危機管理講習会といったリスクマネジメント面に力を注いだことで、自然の中で子ども達と遊ぶ活動の基盤を固めることができました。自然の中での活動は、自由で様々な活動だが、同時に危険も併せ持つものだという事を再確認し、イベント・活動の運営者・責任者としての認識を持つことができました。必要とされる最低限の知識を得ることができました。